

## 青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺の比較【青森市の視点】

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺	補足
まちづくり	メリット	<p>①青森市の立地適正化計画において、都市再生特別措置法に基づく都市機能誘導区域に位置付けられている。</p> <p>②中心市街地に近く、都市機能が集中しているため、コンパクトな街づくりが可能</p> <p>&lt;以下、将来的に駅が設置された場合&gt;</p> <p>③鉄道やバス等の公共交通機関が相互に連続して機能し、公共交通ネットワークの形成を図ることで、人口減少・超高齢社会においても限られた社会資本を有効に活用することが可能。</p> <p>④周辺の市有地(線路の北側用地)について活用の可能性あり</p>		<p>・本市の都市計画マスタープラン及び立地適正化計画において、操車場跡地周辺地区は、都市再生特別措置法に基づく「都市機能誘導区域」であり、浜田周辺地区は、本市独自で設定した「生活拠点区域」という位置付けである。</p> <p>・操車場跡地周辺地区は、本市ではこれまでも重点整備拠点と定め、計画的に都市機能の集積を図ってきた本市の発展を支える都市拠点の一つであり、今後も医療をはじめとする都市機能を積極的に誘導すべき広域的な拠点性を有する地区である一方で、浜田周辺地区は、生活に便利な都市機能が集積した生活拠点と位置付けている。</p> <p>(・商業施設の回遊性については、類似環境にあり、その波及効果の推計が困難なことから、評価していない)</p> <p>・自由通路設置により活用可能な青森操車場跡地北側用地は約2.7ha</p>
	デメリット			

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺	補足
通院アクセス・救急搬送	メリット	<p>①市の中心部に位置し、市内からの移動距離として優れている、また、市内外からの公共交通機関での移動時間に優れている</p> <p>②救急搬送時間が、短時間となる場合が多い</p> <p>&lt;将来的に駅が設置された場合&gt;</p> <p>③青森操車場跡地が交通結節点となるから、市内外からの公共交通機関での移動がさらに優れる</p>	<p>①ICに近く市外からの自動車アクセスに優れる</p> <p>&lt;以下、市有施設敷地がすべて活用できる場合&gt;</p> <p>②道路が4方向とれ、アクセスのバリエーション増える (浜田中央公園敷地が活用できない場合、道路が2方向しかとれない。また、歩行者専用道路による分断については考慮が必要。)</p> <p>③市外からの救急搬送のため、ICから敷地に直接アクセスできる(アプローチ道路を整備した場合)</p>	<p>・現況、県病で8割、市民病院で9割の患者は青森市内である また、両病院の従事者はほとんどが市内在住である 非通常時の駆け付けも対応しやすい</p> <p>・現在、公共交通を利用し通院する患者は1割程度であるが、今後、高齢化の進展によりニーズの拡大が想定されている。 また、いわゆる交通弱者は長時間での移動に配慮する必要がある</p> <p>・県病で2割、市民病院で1割の患者には、自家用車を活用できる方にメリット、その他の手段ではデメリットになる</p> <p>・救急搬送は道路交通法の例外となるので搬送距離に比例して時間が変動する傾向にある</p> <p>(除排雪は、現在も両病院周辺を市が行っており、これまでの豪雪時に病院周辺での除排雪不足が原因で救急搬送に支障を来した事例はない。整備場所がどこであっても同水準で対応することとなる。)</p>
	デメリット	<p>①東西道路である程度の渋滞の可能性がある</p> <p>②救急搬送や交通量分散を考慮した場合、必要に応じて南側の2本の南北道路の拡幅が必要</p>	<p>①外環状線メインのアクセスでは、現況の事故・渋滞が拡大する可能性がある</p> <p>②救急搬送や国道への一般車両出口を考慮した場合、スケート場東側の市道の拡幅が必要</p> <p>&lt;CPへ既存施設を移転する場合&gt;</p> <p>③現況のアクセス網では、セントラルパークに面する東西道路である程度の渋滞の可能性がある</p>	<p>・浜田中央公園・県営スケート場周辺に面する国道7号バイパスは主要渋滞区間に位置づけられている(青森県渋滞対策協議会資料より)。 ・病院の候補地が決定し敷地内配置案を検討する段階で、詳細な調査・検討に基づき、費用対効果から最も適切な対策を決定することとなる</p> <p>・浜田案は、民有地の買収を伴う可能性が高いことから完成まで期間を要する可能性がある</p> <p>・八甲田大橋の架替が交通渋滞解消に起因する場合は、イベント等でピークが集中する集客施設でも同様に渋滞解消策について考える必要がある</p>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺	補足
災害関連	メリット	<p>①災害により道路が利用できない場合でも、市の中心部にあり、徒歩圏人口が多いことから、徒歩でのアクセス性が高い</p> <p>②指定緊急避難場所兼指定避難所に指定されている青森市総合運動体育館と隣接することから、連携した災害対応が可能</p>	<p>①道路啓開計画(案)において、基軸ルート(国道7号)に接している。</p> <p>&lt;浜田中央公園敷地が活用できる場合&gt;</p> <p>②青森中央ICからのアクセス道路を整備した場合、最大想定規模の洪水が発生した場合であっても、高速道路からのアクセスが確保される可能性が高い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した場合の復旧に要する時間が短くなる</li> <li>・電柱・電線の倒壊は、啓開と同要因</li> <li>・道路啓開計画は基幹災害拠点病院としていずれの整備場所であっても優先して指定することが想定される。</li> <li>・災害時に病院従事者を域内から確保できる可能性が高い</li> <li>・軽症者や避難者が殺到しても、隣接する施設への誘導により、災害拠点病院機能に特化できる</li> <li>・災害時の高速道路アクセスによる物資供給がスムーズに行われる可能性が高い</li> </ul> <p>(いずれの整備場所であっても、統合新病院が「災害拠点病院(第1次防災拠点施設)」となれば、接続道路は「第1次緊急輸送道路」になり得る)</p>
	デメリット	<p>①洪水浸水想定では、敷地・周辺道路を含む周辺エリア一帯が浸水(平均浸水0.6m、最大約1.8m)</p>	<p>①洪水浸水想定では、県営スケート場駐車場で約0.5m、浜田中央公園で約2.3mの一部浸水</p> <p>②県営スケート場は指定緊急避難場所兼指定避難所、浜田中央公園は指定緊急避難場所に指定されており、両施設が移転されるまで、代替施設・用地の検討が必要</p> <p>③県営スケート場は、災害時の1次物資拠点に指定されており、同施設が移転されるまで、代替施設の確保が必要、また、移転する場合、現在の青森中央ICから離れることとなり、物資の輸送に時間を要することになる</p> <p>④サンドームは、大規模災害時の遺体安置所として確保しており、同施設が移転されるまで、代替施設の確保が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双方盛土の計画による ただし、浜田中央公園は現在調整池のため、機能を確保する必要がある</li> <li>・規模が変更される場合は、移転されるまでではなく、将来の青森市の計画上、代替機能を検討する必要がある</li> <li>・規模が変更される場合は、移転されるまでではなく、将来の青森県の計画上、代替機能を確保する必要がある</li> <li>・規模が変更される場合は、移転されるまでではなく、将来の青森市の計画上、代替機能を確保する必要がある</li> </ul>

項目		青い森セントラルパーク	浜田中央公園・県営スケート場周辺	補足
その他	メリット	①北側が線路敷地であることから、建物配置の日影制限の影響が緩和され、敷地を有効活用できる		・日影が線路敷になるので、敷地内の施設配置がしやすい
	デメリット	<p>①閑静な住宅街を救急車搬送時に通行するケースが増える</p> <p>&lt;将来的に駅が設置された場合&gt; ②病院の配置計画等については、駅前広場の整備に必要な面積を考慮しながら検討する必要がある</p>	<p>①敷地北側が第一種低層住居専用地域であることから、日影制限により、施設配置に影響(制約)がある、また、歩行者専用道路で敷地の真ん中で分断されている</p> <p>②閑静な住宅街を救急車搬送時に通行するケースが増える</p> <p>③浜田中央公園(都市公園)の移転が必要</p> <p>④浜田中央公園の調整池機能を公園機能とは別に確保する必要がある</p> <p>⑤県営スケート場、サンドームの移転が必要</p> <p>&lt;市有施設敷地がすべて活用できない場合&gt; ⑥4.3haしかない</p>	<p>・歩行者専用道路の廃止にあつては、雨水幹線の耐荷重(構造)を考慮する必要がある</p> <p>・廃止する場合、通行機能を補償する必要がある</p> <p>・どちらも住宅地であり、線路や幹線道路に面しているため、ヘリの騒音による影響の違いは説明しがたい</p> <p>・公園の移転については、地域住民の理解を得て進める必要があり、地域住民の合意が得られるかどうか不確定な要素があるため、スケジュールも読めない</p> <p>・浜田中央公園の調整池機能は、周辺の雨水を調整する機能であることから、公園機能とは別に同規模の機能を確保する必要がある。</p> <p>・CPへの移転の場合、イベント等での渋滞があることを考慮し、規模によっては、同様に八甲田大橋の架替えを検討する必要がある。また、利用価値のある施設の解体や現利用者への説明が必要</p> <p>・サンドーム分の1.5haと浜田中央公園3.0haを合わせて、4.5ha</p>